



JH

#4
03C0

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant : Kiyokazu Ikeda
Serial No.: 09/891,840
Filed : June 26, 2001
For : SALES METHOD, SALES SYSTEM, SALES PROCESSING
APPARATUS, AND TERMINAL APPARATUS

I hereby certify that this paper is being deposited this date with the U.S. Postal Service in first class mail addressed to Assistant Commissioner for Patents, Washington, D.C. 20231.

Pedro C. Fernandez

Pedro C. Fernandez
Reg. No. 41,741

Date
October 1, 2001

October 1, 2001
1185 Avenue of the Americas
New York, NY 10036
(212) 278-0400

CLAIM FOR PRIORITY AND DOCUMENT SUBMISSION

Assistant Commissioner of Patents and Trademarks
Washington, D.C. 20231

Sir:

A claim for priority under the provision of 35 USC 119 is hereby entered in the above-identified application.

In support thereof enclosed is a certified copy of Japanese Design Application No. P2000-201461 filed on June 29, 2000.

Entrance of the priority claim is solicited.

Respectfully submitted,
Cooper & Dunham LLP

Jay H. Maioli

Jay H. Maioli
Reg. No. 27,213
Pedro C. Fernandez
Reg. No. 41,741

File No. : 7217/64734
JHM:ma
Enc.

501P0965US00



日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 6月29日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-201461

出 願 人

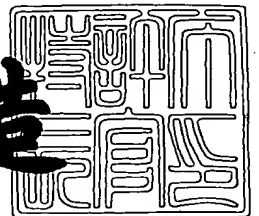
Applicant(s):

ソニー株式会社

2001年 4月20日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3031774

【書類名】 特許願

【整理番号】 0000555702

【提出日】 平成12年 6月29日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04L 12/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社
内

【氏名】 池田 清和

【特許出願人】

【識別番号】 000002185

【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代表者】 出井 伸之

【代理人】

【識別番号】 100086841

【弁理士】

【氏名又は名称】 脇 篤夫

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 014650

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9710074

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 販売方法、及び販売システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ネットワークを介して通信可能に接続されて、無形物商品と有形物商品とを販売可能とされる 1 以上のサーバから成るサーバ群と、上記サーバ群と所定のネットワークを介して通信可能に接続される端末装置とから成る販売システムの販売方法において、

上記端末装置に対して行われた有形商品又は無形物商品の購入申し込みのための所定項目の入力操作に応じて、所定内容の購入申し込み情報を生成する情報生成手順と、

上記情報生成手順によって得られた購入申し込み情報を、上記端末装置から特定のサーバに送信することのできる送信手順と、

或る特定のサーバにおいて実行され、上記特定のサーバに対して送信された購入申し込み情報を取得して、購入申し込みされた有形物商品に適合する無形物商品、または購入申し込みされた無形物商品に適合する有形物商品を選択する選択手順と、

上記選択手順により選択された商品を上記端末装置側において提示可能とするための商品提示手順と、

を実行することを特徴とする販売方法。

【請求項 2】 ネットワークを介して通信可能に接続されて、無形物商品と有形物商品とを販売可能とされる 1 以上のサーバから成るサーバ群と、上記サーバ群と所定のネットワークを介して通信可能に接続される端末装置とから成る販売システムにおいて、

上記端末装置に対して行われた有形商品又は無形物商品の購入申し込みのための所定項目の入力操作に応じて、所定内容の購入申し込み情報を生成する情報生成手段と、

上記情報生成手順によって得られた購入申し込み情報を、上記端末装置から特定のサーバに送信することのできる送信手段と、

或る特定のサーバにおいて実行され、上記特定のサーバに対して送信された購

入申し込み情報を取得して、購入申し込みされた有形物商品に適合する無形物商品、または購入申し込みされた無形物商品に適合する有形物商品を選択する選択手段と、

上記選択手段により選択された商品を上記端末装置側において提示可能とするための商品提示手段と、

を備えていることを特徴とする販売システム。

【請求項 3】 上記サーバ群として、購入申し込みされた無形物商品または有形物商品に関する特定のサービスを提供するための、1 以上のサービス提供用サーバが備えられ、

上記サービス提供用サーバは、

上記申し込み情報を取得する申し込み情報取得手段と、

取得した申し込み情報を利用すると共に、上記端末装置と通信を行って所要のデータの授受を行うことで、サービス提供のための所要の処理を実行するサービス実行処理手段と、

を備えていることを特徴とする請求項 2 に記載の販売システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、例えばインターネットなどのネットワークを介して商品を販売する販売システムとその方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

近年においては、いわゆるインターネットショッピングが普及してきている。これは、例えば購買客であるユーザが、インターネットと接続されたパーソナルコンピュータを用いて、インターネット上のショッピング用のサイトにアクセスする。そして、例えばブラウザ画面に表示されるサイトの画像に対して所定操作を行うことで、自分が購入したいと思う製品を選ぶことができるようになっている。そして、購入すべき製品を決定するための操作を行ったうえで、住所氏名などの個人情報、決済方法などの所要の事項を入力して料金支払い手続きを行うこ

とができるようになっている。

また、近年においては、上記したインターネットショッピングの1つとして、各種有形物の商品のほか、例えば自動車保険などのような無形物商品の販売も行われてきている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

上記したようなことを背景とすれば、購買客のユーザとしては、例えば無形物商品の購入を計画したときに、これに関連して、他の有形物商品も併せて購入を計画する機会が増えてくることになる。

但し、現状においては、有形物商品であれば、有形物商品のみを取り扱うサイトにユーザがアクセスして、必要事項を入力して購入を行い、無形物商品であれば無形物商品のみを取り扱うサイトにアクセスし、同様にして必要事項を入力して購入を行う必要がある。

つまり、ユーザとしては、例えば或る無形物商品と、これに関連する何らかの有形物商品とを組み合わせで購入したいと思った場合には、例えば先ず、無形物商品のサイトにアクセスして必要事項の入力を行って支払い契約までを済ませ、この後、リンクを辿るなどして有形物商品のサイトにアクセスし、同じような必要事項の入力を行って支払い契約までを済ませるという2度手間的な手順を踏む必要が生じてしまう。また支払い契約なども、有形物商品と無形物商品とでそれぞれ別々に管理されることになる。

【0004】

従って、例えばインターネットショッピングのユーザ（購買客）にとってみれば、なるべく簡便な操作手順によって有形物商品と無形物商品とを組み合わせで購入できるような販売システムが構築されることが好ましいことになる。また、このような販売システムが構築されれば、販売側としても、有形物商品と無形物商品との組み合わせ販売というこれまでにない形態による販売サービスが提供できることになって、有効な運営を図ることが可能にもなる。

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】

そこで本発明は上記した課題を考慮して、先ず、販売方法として次のように構成する。

本発明の販売方法は、ネットワークを介して通信可能に接続されて、無形物商品と有形物商品とを販売可能とされる 1 以上のサーバから成るサーバ群と、上記サーバ群と所定のネットワークを介して通信可能に接続される端末装置とから成る販売システムに適用される。

そして、上記端末装置に対して行われた有形商品又は無形物商品の購入申し込みのための所定項目の入力操作に応じて、所定内容の購入申し込み情報を生成する情報生成手順と、この情報生成手順によって得られた購入申し込み情報を、上記端末装置から特定のサーバに送信することのできる送信手順と、或る特定のサーバにおいて実行され、上記特定のサーバに対して送信された購入申し込み情報を取得して、購入申し込みされた有形物商品に適合する無形物商品、または購入申し込みされた無形物商品に適合する有形物商品を選択する選択手順と、この選択手順により選択された商品を上記端末装置側において提示可能とするための商品提示手順とを実行する。

【 0 0 0 6 】

また、販売システムとして次のように構成する。

本発明は、ネットワークを介して通信可能に接続されて、無形物商品と有形物商品とを販売可能とされる 1 以上のサーバから成るサーバ群と、上記サーバ群と所定のネットワークを介して通信可能に接続される端末装置とから成る販売システムとなる。

そして、上記端末装置に対して行われた有形商品又は無形物商品の購入申し込みのための所定項目の入力操作に応じて、所定内容の購入申し込み情報を生成する情報生成手段と、この情報生成手順によって得られた購入申し込み情報を、上記端末装置から特定のサーバに送信することのできる送信手段と、或る特定のサーバにおいて実行され、上記特定のサーバに対して送信された購入申し込み情報を取得して、購入申し込みされた有形物商品に適合する無形物商品、または購入

申し込みされた無形物商品に適合する有形物商品を選択する選択手段と、この選択手段により選択された商品を上記端末装置側において提示可能とするための商品提示手段とを備えることとした。

【0007】

上記各構成によれば、例えば無形物商品についての購入申し込みに必要なとされる所定項目を購買客としてのユーザが端末装置側で入力し、これを購入申込情報としてサーバ群側に送信すると、サーバ群側では、受信した購入申込情報に含まれる内容に基づいて、購入申し込みを行った無形物商品と組み合わせられた或る有形物商品を選択する。そして、端末装置側では、この選択された有形物商品を提示して、無形物商品と有形物商品との組み合わせというかたちでユーザに勧めることができる。これは即ち、上記例であれば、無形物商品の購入申し込みのための入力操作を行えば、これに関連する有形物商品の購入のための申し込み手続きも一元的に行えることを意味している。

【0008】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について説明を行っていく。本実施の形態としては、無形物商品として自動車保険を販売するとともに、有形物商品としては、同じ自動車に関連するものである、いわゆるカーナビゲーション装置を販売する販売システムを例に挙げることにする。

なお、以降の説明は次の順序で行う。

1. 販売システム
 - 1-1. 全体構成
 - 1-2. ユーザ端末装置
 - 1-3. サーバ
2. 操作手順
3. 情報送受信形態例

【0009】

1. 販売システム

1-1. 全体構成

図1は、本実施の形態としての販売システムの構成例を示している。

この図において、ユーザ端末装置1は、パーソナルコンピュータとされ、インターネットと接続可能とされている。このユーザ端末装置1は、購買客であるユーザが使用する。

【0010】

そして、本実施の形態の販売システムを構築するために、販売者側が運営するサーバとしては、自動車損害保険会社（損保会社）サーバ2、販売会社（販社）サーバ3、メーカーサーバ4、自動車整備工場サーバ5、通信業者サーバ6、ファイナンス会社サーバ7を少なくとも備えている。

【0011】

損保会社サーバ2は、或る特定の自動車保険会社が運営するサーバであり、このサーバにアクセスすれば、少なくとも、その損保会社の販売商品である自動車保険の見積もり、及び購入契約を結ぶことができるようになっている。つまり、損保会社サーバ2は、インターネットショッピングとして、自動車保険という無形物商品を販売提供可能なサーバとして構成される。

【0012】

販社サーバ3は、有形物商品を販売提供可能なサーバとして構成されるもので、本実施の形態であれば、後述するようにして、自動車保険と組み合わせての購入が勧められるカーナビゲーション装置も販売可能とされている。

【0013】

例えば、無形物である自動車保険と、有形物であるカーナビゲーション装置とを組み合わせ販売することのみを実現するのであれば、上記損保会社サーバ2、販社サーバ3、及び後述するファイナンス会社サーバ7をサーバとして備えていればよいことにはなるのであるが、本実施の形態では、これらの自動車保険とカーナビゲーション装置を購入したユーザに対してより積極的なサービスが提供できるように、メーカーサーバ4、自動車整備工場サーバ5、及び通信業者サーバ

6も備えるものとされている。

【0014】

メーカサーバ4は、例えば販社サーバ3にて取り扱っている有形物商品のメーカが運営するサーバとされ、販社サーバ3からの商品の発注を受ける。また、例えば販社サーバ3からのリクエストに応じて、商品の在庫状況や納期などの情報を通知することも可能に構成される。

【0015】

整備工場サーバ5は、例えば本実施の形態の販売システムと契約しているとされる多数の自動車整備工場に関連する情報を提供することができる。

詳しいことは後述するが、このサーバにアクセスすることにより、ユーザが所有する自動車に対してカーナビゲーション装置を取り付けることのできる自動車整備工場を検索したり、また、取り付け工事の予約などを受け付けることも可能とされている。

【0016】

通信業者サーバ6は、例えば携帯電話などの無線通信会社が運営するサーバである。

例えば、本実施の形態の販売システムにおいて販売するカーナビゲーション装置のうちには、携帯電話などの技術を利用して無線通信を行うことで、インターネットとの接続が可能とされる機種が含まれている。

そこで、例えばユーザがこのようなカーナビゲーション装置の購入を決定した際には、通信業者サーバ6にアクセスすることで、このカーナビゲーション装置に搭載される無線通信機の登録を行うことができるようになっている。

【0017】

ファイナンス会社サーバ7は、例えば各種ファイナンス会社、金融機関のサーバとされ、ここにアクセスすることで、商品の購入を決定した際において、料金支払いの決済を行うことができる。

【0018】

図 2 のブロック図は、ユーザ端末装置 1 の内部構成例を示している。先にも述べたように、この場合のユーザ端末装置 1 は、インターネットと接続可能なパーソナルコンピュータとされる。

【 0 0 1 9 】

この図において、CPU 1 0 1 は、例えば ROM 1 0 2 に保持されているプログラムに従って各種の処理を実行する。

また、RAM 1 0 3 には CPU 1 0 1 が各種処理を実行するのに必要なデータやプログラム等が適宜保持される。

【 0 0 2 0 】

入出力インターフェイス 1 0 4 は、キーボード 1 0 5 とマウス 1 0 6 が接続されており、これらから供給された操作信号を CPU 1 0 1 に出力するようにされている。また、入出力インターフェイス 1 0 4 には、記憶媒体としてハードディスクを備えたハードディスクドライブ (HDD) 1 0 8 が接続されている。CPU 1 0 1 は、入出力インターフェイス 1 0 4 を介して、HDD 1 0 8 のハードディスクに対してデータやプログラム等の記録又は読み出しを行うことができるようにされている。

この場合、入出力インタフェース 1 0 4 には、さらに、画像表示のためのディスプレイモニタ 1 0 7 が接続されている。

【 0 0 2 1 】

メディアドライバ 1 0 9 は、特定種別のメディアに対応するドライバとされ、対応するメディアに対してのデータの読み出し／書き込みを実行する。

【 0 0 2 2 】

通信インターフェイス 1 1 0 は、インターネットを介して通信を行うためのインターフェイスであり、例えば、インターネットとの接続が電話回線を利用したものであれば、ハードウェアとしてはモデムなどが備えられ、また、ネットワークなどを介したものであれば Ethernet などのインターフェイスとなる。

【 0 0 2 3 】

データインターフェイス 1 1 1 は、例えば SCSI、USB、IEEE 1 3 9

4 などに代表される、外部周辺機器との通信のためのインターフェイスとされる。記録媒体 6 に対応するドライバ装置は、例えばこのデータインターフェイス 1 1 1 により接続される外部周辺機器とされてもよいものである。

【0 0 2 4】

内部バス 1 1 2 は、例えば、P C I (Peripheral Component Interconnect) 又はローカルバス等により構成され、内部における各機能回路部間を相互に接続している。

【0 0 2 5】

1 - 3. サーバ

損保会社サーバ 2、販社サーバ 3、メーカーサーバ 4、整備工場サーバ 5、通信業者サーバ 6、ファイナンス会社サーバ 7 は、例えばハードウェア的な構成としては、概略同様の構成を採る。そこで、上記各サーバの基本構成を図 3 のブロック図に示しておく。

この図に示すサーバの構成としては、記憶部 2 0 0、通信インターフェイス 2 0 3、制御部 2 0 4 から成るものとしている。

記憶部 2 0 0 には、そのサーバとしての機能を実現するのに必要とされる各種情報が格納されるようにして記憶される。ここでは、記憶部 2 0 0 に記憶される情報として、データベース 2 0 1、及び実行プログラム 2 0 2 が示される。なお、データベース 2 0 1 としては、後述するようにして、各サーバごとに必要とされる所定内容の情報がデータベース化されて格納される。また、実行プログラム 2 0 2 は、各サーバの制御部 2 0 4 が実行すべきプログラムが格納されている。

【0 0 2 6】

2. 操作手順

続いて、図 4 ～図 1 3 を参照して、購買客であるユーザが商品を購入する際のユーザ端末装置 1 に対する操作手順を説明していくこととする。図 4 ～図 1 3 に

は、ユーザ端末装置1のディスプレイモニタ107に表示されるブラウザ画面が示される。

【0027】

ここでは、まず、ユーザは、無形物商品である自動車保険を購入することを計画しているとする。そこでユーザは、所定操作によってインターネット上のサイトを閲覧できるブラウザといわれるアプリケーションプログラムを起動させ、本実施の形態の販売システムの損保サーバ2における自動車保険購入のためのサイトにアクセスする。

これにより、ディスプレイモニタ107の表示画面上には、図4に示すようにして、自動車保険購入のサイトのトップページが表示される。

この図に示すページ画面には、自動車保険とカーナビゲーション装置とを組み合わせる購入できることが紹介されている。ユーザは、例えばこのページ画面上で、自動車保険とカーナビゲーション装置を組み合わせる購入したければ、「カーナビ+損保の申し込み」と記述された表示領域部分またはその左側に表示される矢印部分をクリック操作する。また、自動車保険のみの購入しか考えていなければ、その下側に表示されている「自動車保険の申し込み」と記述された表示領域部分またはその左側に表示される矢印部分をクリック操作する。

【0028】

例えば、自動車保険とカーナビゲーション装置を組み合わせる購入した場合には、自動車保険のみ、若しくはカーナビゲーション装置のみを購入した場合と比較して、少なくとも一方の価格が値下げされたり、また、分割手数料が割引になるなど、ユーザにとっては支払いに関してのメリットが得られる。また、サーバを運営する各企業にとっても、契約成立時には所定割合のマージンを相互で支払うようにするなどして、利益でのメリットが得られるようにもされる。

【0029】

ここで、ユーザが上記した「カーナビ+損保の申し込み」、「自動車保険の申し込み」に対応する何れかの領域を選択してクリック操作を行ったとする。すると、先ず以降においては、自動車保険を購入するために必要となる項目を入力するためのページが表示されていくことになる。ここでは最初に、図5に示すよう

にして、ユーザの個人情報を入力させるためのページ（個人情報入力画面）が表示される。

ここでは、個人情報として、ユーザの氏名、その読み仮名、電子メールアドレス、生年月日、年齢、性別、住所、電話番号、携帯電話番号、職業、会社住所などの入力項目が示されている。ユーザは、これらの入力項目に対応する入力ウィンドウに対して、マウス、キーボードなどを操作することによって、順次入力を行っていく。

なお、これらの項目の入力に際しては、例えば生年月日を入力したら自動的に年齢を判定して年齢の入力項目に年齢を入力させたり、また、漢字による氏名を入力したときに、自動的にその読みを判別して読み仮名の入力項目に対して仮名文字を入力させるようにして、できるだけユーザの入力操作の手間が省けるようにするとよい。

【0030】

そして、上記個人情報入力画面に対する入力を終わると、ユーザは、右下に表示される「次へ」と示されるボタンをクリック操作する。すると、この場合には、図6に示す保険申し込み画面としてのページへのアクセスが行われる。

この図に示す保険申し込み画面は、保険の内容を決定していくために必要となる項目を入力していく画面とされる。ここでは、ユーザが所有する自動車に関する情報として車名、車番、登録ナンバー、年式、車検期間などを入力するようにされている。これらの情報を総合すれば、そのユーザが所有している自動車を特定する情報として扱うことが可能になる。

また、保険に関する情報としては、図示するように、現在加入している自賠責保険の保険会社と証券番号、また、現在加入している任意保険についての各種情報（保険会社名、商品名、等級、満期日、証券番号、保険料金の支払形態、そして、対人、対物、車両、同乗者についての各補償金額、不担保とする年齢制限などの情報を入力するようにされている。

なお、この図に示しているのは概略的なものであり、例えばほかにも、自動車の安全機能の有無を入力する項目など、実際の保険料金設定に影響する各種の割引特約の項目を入力するための各種入力ウィンドウが設けられるべきものである。

【0031】

そして、上記した保険申し込み画面の入力を終えて、次のページへ進むための所定操作を行ったとする。ここで、先の図4に示したトップページで、ユーザが自動車保険とカーナビゲーション装置を購入するための操作を行っていたとすると、保険申し込み画面に続いては、例えば図7に示すカーナビ申し込み画面にアクセスする。

このカーナビ申し込み画面には、先の図6の保険申し込み画面に対する入力結果に応じて、ユーザに勧める自動車保険の内容が示される。また、購入すべきカーナビゲーション装置の購入を行うためのカーナビ購入エリアA1も表示される

【0032】

カーナビ選択エリアA1内には、例えば[NDVD-55SD-1]などのようにして、カーナビゲーション装置の品番を示すウィンドウA11が表示される。また、ウィンドウA12には、カーナビゲーション装置の取り付けサービスを受けるか否かを設定できるボタンが表示されており、ここでは、取り付けサービスを受けるものとしての設定が行われている。また、その右には、支払方法を選択するためのウィンドウA13が表示され、ここでは、分割払いを設定している。また、その左にはカーナビゲーション装置の価格も表示される。

また、分割払いの分割方法としては、「契約年数」の入力ウィンドウに対して、入力を行うことで申し込み設定ができるようになっている。ここでは、3年分割払いであることを設定するための入力が行われており、これに応じて、自動車保険満期期間も3年間の期間が自動的に設定されている。

【0033】

ところで、上記カーナビ選択エリアA1内のウィンドウA11に表示されるカーナビゲーション装置の品番、つまり機種は、例えば次のようにして決定される

先に行われた保険申し込み画面（図6）に対して入力された情報のうち、ユーザの自動車に関する情報は、損保サーバ2だけではなく、例えば販社サーバ3に対しても送信される。販社サーバ3は、送信されてきた情報における車種、年式

などの情報に基づいて、ユーザの自動車に取り付け可能なカーナビゲーション装置の機種を、販社サーバ3にて販売可能なものの中から検索する。そして、検索されたカーナビゲーション装置の機種を、カーナビ選択エリアA1に対してここでは品番として表示させるようにしている。

つまり、本実施の形態では、先に入力した自動車保険（無形物商品）についての情報に基づいて、ユーザが所有する自動車に適合するとされるカーナビゲーション装置（有形物商品）を自動的に選択できるようにしているものである。

なお、例えば実際には、複数のカーナビゲーション装置が検索結果として得られることは当然考えられるので、このような場合には、ウィンドウA11をプルダウンメニューにするなどして、複数の品番のなかから選択可能としてもよいものである。また、図示は省略するが、検索されたカーナビゲーション装置を紹介し、また、これらのカーナビゲーション装置からユーザが所望の製品を選択決定できるような操作画面としてのページを設け、このページにアクセスするようにしてもよいものである。このような操作画面ページへのアクセスは、例えば販社サーバ3に対して行うようにされる。

【0034】

また、ここでは、カーナビゲーション装置以外のオプションの商品として、セキュリティシステムを購入するか否かの決定も行えるようになっている。これに対応して、カーナビ申し込み画面には、セキュリティシステム購入エリアA2も表示される。セキュリティシステム購入エリアA2には、先ずチェックボックスA14が表示されており、ここにチェックを付す操作を行えば、購入を選択したことになる。また、ここでも、その左側に対して、セキュリティシステムの取り付けサービスを受けるか否かを設定できるウィンドウA15が表示され、また、支払方法を選択するためのウィンドウA16が表示される。そして、その左にはセキュリティシステムの価格も表示される。

このようにして、カーナビ申し込み画面への入力を行うことで、自動車保険とカーナビゲーション装置とを組み合わせる購入する場合の見積もりを立てることができる。

【0035】

そして、上記したカーナビ申し込み画面への入力を終え、これを送信するための操作を行ったとする。この場合には、ユーザ端末装置1はファイナンス会社サーバ7にアクセスして、見積もりの情報をファイナンス会社サーバ7に対して送信する。

ファイナンス会社サーバ7では、受信した商品の見積もり情報に基づいて、実際の見積もり計算書を作成するための処理が実行される。つまり、例えば分割払いが設定されたのであれば、購入希望の商品の総額と、分割回数などによって決まる金利等に基づいて、1回あたりの支払金額などを算出して、いわゆる見積計算書として必要な情報を得るものである。そして、この作成された見積もり計算書としてのブラウザ画面のデータを、ユーザ端末装置1に対して送信する。

【0036】

この見積もり計算書のデータを受信したユーザ端末装置1では、例えば図8に示すような見積書画面を表示させる。ユーザは、この内容を見て、自分の設定した内容に間違いが無く、また、納得のいくものであるとして、この条件で購入したいと思ったのであれば、「申込!」の文字表示の隣にある、矢印形状の購入決定ボタンA21に対してクリック操作を行う。

これにより、例えばユーザ端末装置1は、ファイナンス会社サーバ7に対してアクセスし、現在の見積もりによる購入決定の通知を行う。そして、このような購入決定通知に応じて、ファイナンス会社サーバ7からは、図9に示す支払い情報入力画面のデータが送信される。

【0037】

図9に示す支払い情報入力画面においては、入力項目として、「支払方法」、「カード会社」、「カード番号」、「有効期限」、「カード名義」の各入力ウィンドウが示される。ユーザは、これらのウィンドウに対して、希望の決済方法に従った入力を行っていく。一例として、「支払方法」のウィンドウは、例えばいわゆるプルダウンメニューとされて、クレジットカード、デビットカード、銀行（郵便局）引き落とし、振り込みなどをはじめとする、当該販売システムが対応可能な支払方法を選択することができるようになっている。

ここでは、クレジットカードを利用しての分割払いの場合の入力フォームに対してユーザが入力を行った場合の状態が示される。そして、決済のための所定操作が行われたとすると、ここに入力された情報がファイナンス会社サーバ7に対して送信される。この支払い方法を示す支払い情報の送信が、最終的な購入決定も示すことになる。そして、ファイナンス会社サーバ7では、受信した支払い情報に基づいて、図9に示される内容に従って決済のための処理を実行する。

【0038】

なお、ここでは図示していないが、この後においては、購入契約が成立したことを示すページ画面をユーザ端末装置1により読み込ませて表示させるようになっている。

また、例えば決済が完了した後において、契約内容の詳細な内容を電子メールとして、ユーザが利用するメールサーバに送信するようにもされる。

【0039】

無形物商品である自動車保険と、無形物商品であるカーナビゲーション装置とを組み合わせた商品の購入決定と、決済までの操作及びこれに応じた動作の基本的な流れは、これまでの図4～図9による説明のように行われるのであるが、本実施の形態においては、上記した自動車保険とカーナビゲーション装置とを組み合わせた商品の販売を核として、更に多様なサービスも次のようにして提供することができる。

【0040】

例えば、カーナビゲーション装置が無線電話回線網を利用してのインターネット接続が可能な通信端末を有しているとした場合には、ユーザは、そのカーナビゲーション装置が備える通信端末についての契約を行う必要がある。このような契約は、例えばカーナビゲーション装置がユーザの手元に渡ってから、ユーザ自身が行うようにしてもよいのであるが、本実施の形態においては、カーナビゲーション装置の購入を決定した段階において、そのカーナビゲーション装置が通信端末を有している場合には、この通信端末の契約をブラウザ画面に対する操作によって行えるようにもされる。

【 0 0 4 1 】

図 1 0 は、このようなブラウザ画面の表示形態例を示している。

例えば図 4 ～図 9 に示した操作手順の流れの中で、通信端末を有するカーナビゲーション装置の購入が決定されたとすると、ユーザ端末装置 1 は通信業者サーバ 6 にアクセスして、図 1 0 に示すような通信端末契約画面のデータを表示させる。

この通信端末契約画面に対する入力操作を行うことで、通信端末利用サービスを受けるための登録、または契約内容の変更（追加なども含む）を行うことができる。なお、例えば実際の無線端末装置の契約にあたっては、その契約者の住所、氏名、生年月日等等をはじめとする個人情報も必要なのであるが、ここでの入力項目には、これらは含まれていない。本実施の形態の場合、このような個人情報は、先に図 5 に示した個人情報入力画面に対して入力された情報を各サーバ間で授受することで共通に利用するため、この通信端末契約画面上での個人情報の入力是不要となるものである。

【 0 0 4 2 】

そして、申込のための操作を行えば、この契約内容の情報が通信業者サーバ 6 に対して送信される。また、このときには、これまでのブラウザ画面に対して行われた入力により得られている個人情報、及びカーナビゲーション装置や自動車に関する情報のうちから、通信端末の契約に必要とされる所要のデータも通信業者サーバ 6 に送信するようにされている。これらのデータは、ユーザ端末装置 1 から送信してもよいし、例えばこれまでアクセスされていた販社サーバ 3 にて取得して記憶しているデータを転送するようにしてもよい。通信業者サーバ 6 では、これらの情報に基づいて例えばデータベースを作成するなどし、契約を行った顧客の管理を行うようにされる。つまり、ユーザの個人情報と、そのユーザが使用する通信端末装置（カーナビゲーション装置）とを対応づけたうえで、例えば、以降の回線使用時間や送受信したデータサイズ等に応じた課金処理等を行うことができるものである。

【 0 0 4 3 】

また、カーナビゲーション装置の購入が決定された場合に、ユーザが取り付け

サービスを受けるものとして設定している場合には、ユーザ端末装置 1 を整備工場サーバ 5 に対してアクセスさせることができるようになっている。

整備工場サーバ 5 では、ユーザ端末装置 1、または損保サーバ 2、販社サーバ 3 などの何れかから、先に自動車保険購入のためにユーザが入力した個人情報はじめとする所要の各種情報を送信してもらい、これを受信する。

整備工場サーバ 5 では、データベースとして、当該販売システムと提携している各地の自動車整備工場や自動車ディーラーについて、その位置（所在地）、取り扱い可能な車種、取り付け作業可能なカーナビゲーション装置などの情報を関連させたデータを有しているものとされる。

そして、例えばユーザの個人情報に含まれる住所の情報、自動車の車種、また、購入決定したカーナビゲーション装置の機種等の情報に基づいて、カーナビゲーション装置の取り付けを行う自動車整備工場として、ユーザにとって最も都合がよいとされる工場を、データベースから検索する。

そして、その検索結果を、例えば図 1 1 に示すようにして工場案内画面として表示させる。ここでは、文字による工場の紹介と、例えば地図による紹介とが行われる。この場合、地図上においては、ユーザの住所（自宅）に対応する位置と、検索された工場との位置関係が把握できるようにして表示が行われている。

【 0 0 4 4 】

上記のようにして地図情報を表示させるには、整備工場サーバ 5 では、地図情報のデータも格納しているものとされる。更に整備工場サーバ 5 としては、単にユーザの自宅と工場の位置とを示すだけでなく、自宅から工場までの距離を示したり、また、ルートを検索して地図上に表示させたりする機能を与えることも可能とされる。更には、過去の渋滞情報などを格納することで、これに基づいて、実移動時間などを表示させることも可能である。

【 0 0 4 5 】

そして、本実施の形態では、例えば上記図 1 1 に示すようにして工場の候補を提示すると共に、図 1 2 に示す別のページにアクセスすることも可能とされている。この図 1 2 に示すページは、取り付けスケジュール予約画面とされ、例えばユーザが候補の中から選択した工場の予約状況が表示される。このような表示を

実現するため、整備工場サーバ5では、提携している各工場と通信を行うなどして予約状況の情報を集め、これをデータベースとして格納しているものとされる。

ユーザは、この取り付けスケジュール予約画面に対して所定操作を行うことで、現在空いている日時を指定して予約を行うことができるようになっている。

なお、例えば希望の日時の予約が取れなかったような場合には、例えば、図11に示した工場案内画面に戻って、別の工場を選択し直すことができるようにもされている。

また、例えばその後におけるアクセスなどによって、キャンセル待ち状況を表示させたり、或いは、電子メールなどによって、キャンセル待ち状況を通知するようによすることも考えられる。

そして、例えば取り付けの予約日時が確定されれば、ブラウザ画面としては、図13に示すような予約確認画面が表示される。そしてこの場合には、例えばこの画面上に対する所定操作によって、ユーザの自宅から工場までの地図を、ユーザが入手できるようにもしている。例えば地図情報申し込みのボタンが操作されたとすれば、整備工場サーバ5から電子メールによってユーザ端末装置に対して地図情報を送信するようにされる。

【0046】

3. 情報送受信形態例

これまで述べてきた販売システムとしての動作を得るためには、販売システムを構築するユーザ端末装置1、及び各サーバ間で所要の情報の送受信を行い、この情報に基づいて適宜、或るサーバが所要の処理動作を実行する。

そこで、以降においては、上述してきた動作に対応して送受信される情報内容、及び、その情報に応じてのユーザ端末装置1及び各サーバにおける動作について説明していくこととする。なお、以降においては、データ送受信に伴うユーザ端末装置1と各サーバの動作が示されるが、ユーザ端末装置1が実行する動作は、各サーバから送信されるHTMLなどのコンテンツデータにおけるファイルの

記述内容に基づいてCPU101が実行する。また、サーバの動作は、各サーバの制御部203が、その記憶部200に格納されているとされる実行プログラム202を起動させて実行することで実現されるものである。

【0047】

図14は、先の図4～図9により説明した、ユーザが自動車保険とカーナビゲーション装置とを組み合わせる購入する場合の操作に対応した販売システムの動作として、ユーザ端末装置1及び各サーバ間で送受信される情報を示している。また、図において○印内に示される数は、情報伝送手順の基本的な順序を示している。以下、この手順に従っての説明を行っていく。

手順1：ユーザ端末装置1は、損保会社サーバ2にアクセスすることで、図4に示したトップページから図5に示す個人情報入力画面への表示に移行し、更に、この個人情報入力画面から図6に示す保険申込画面への移行が可能とされる。つまり、損保会社サーバ2から個人情報入力画面（図5）と保険申込画面（図6）としてのコンテンツデータの読み込みを行って、ディスプレイモニタ107に対し、ブラウザ画面として表示させることができる。

手順2：ユーザは、表示された個人情報入力画面（図5）と保険申込画面（図6）に対して情報入力のための操作を行うのであるが、ユーザ端末装置1からは、このようにして入力した個人情報と、保険詳細情報とを併せて「保険申込データ」として損保会社サーバ2に送信する。

【0048】

手順3：損保会社サーバ2では、上記手順2により送信された保険申込データを受信すると、これを申込情報として、記憶保持しておくようにされる。そして、この保険申込データを販社サーバ3に対して転送する。

手順4：販社サーバ3に転送された保険申込情報の内容とは、即ち、図5及び図6に示す各入力項目とされるものであり、従って、ここには、ユーザが所有する自動車の情報として、その型式、年式、などの車種の詳しい情報が含まれている。

販社サーバ3では、図示するように、販売提供可能な商品についてのデータベースである商品データベース211を備えている。そして、この商品データベ

ス 2 1 1 には、カーナビゲーション装置であれば、製品ごとに、取り付け可能な車種の情報も含まれているとされる。

そこで、販社サーバ 3 は、保険申込情報における車種を示す情報を検索条件として利用して、商品データベース 2 1 1 から、ユーザの自動車に取り付け可能なカーナビゲーション装置を検索する。また、必要があれば、ユーザの自動車に取り付け可能なセキュリティシステムの検索も行えるようになっている。

【 0 0 4 9 】

手順 5 : ユーザ端末装置 1 は、所定操作によって、先の手順 2 としての保険申込データ送信のための操作を行った場合には、その操作に応じたアクションとして、リンクされている販社サーバ 3 へアクセスするようにされている。そして、販社サーバ 3 から図 7 に示した保険／カーナビ申込画面のページを読み込む。

この保険／カーナビ申込画面のページとしてのデータは、上記手順 4 により検索された 1 以上のカーナビゲーション装置を、先に申し込まれた保険の内容と共に提示するためのものとされる。また、これらのカーナビゲーション装置の中からユーザが選択可能なように、例えば HTML ファイルなどのコンテンツとしては、スクリプトの記述や外部参照ファイルの添付が行われている。

手順 6 : ユーザ端末装置 1 では、図 7 に示される保険／カーナビ申込画面に対して操作を行うことで、自動車保険と共に、カーナビゲーション装置、更にはセキュリティシステムの購入申込を行うことが可能とされている。そして、保険／カーナビ申込画面に表示されている入力情報を、販社サーバ 3 に対して保険／カーナビ申込データとして送信する。

【 0 0 5 0 】

手順 7 : 販社サーバ 3 では、保険／カーナビ申込データを受信することで、ユーザが、自動車保険とカーナビを申し込んだものとして扱うことになる。但し、この段階では、まだ最終申込確認は行われていない、そしてこの場合には、先ず、メーカーサーバ 4 と通信を行うことで、ユーザが購入を申し込んだ有形物商品、つまり、カーナビゲーション装置（及びセキュリティシステム）の在庫／納期を確認するための在庫／納期通知要求を行う。このときには、在庫／納期通知要求のコマンドとされる情報を、カーナビゲーション装置の製品 ID と共に送信する

ようにされる。

手順 8：メーカサーバ 4 では、例えば販社サーバ 3 にて商品として取り扱われているとされる自社製品の管理状況として、各製品の在庫状況、納期などの情報を登録し、これを製品管理データベース 2 1 2 として保持しているものとされる。そしてこの場合には、自社製品としてのカーナビゲーション装置についての現在の在庫状況の情報が製品管理データベース 2 1 2 に格納されているものである。

そこで、メーカサーバ 4 では、上記手順 7 により送信された在庫／納期通知要求を受けると、例えば指定された製品 ID を有する製品の在庫／納期状況を、製品管理データベース 2 1 2 から検索し、その製品についての現在の在庫／納期状況情報を得るようにされる。つまり、ユーザが購入申込したカーナビゲーション装置についての在庫／納期状況情報を得る。また、同様にしてセキュリティシステムについての在庫／納期状況も得ることができる。

手順 9：そして、メーカサーバ 4 では、上記のようにして得たカーナビゲーション装置（及びセキュリティシステム）の在庫／納期状況を販社サーバ 3 に対して通知するものである。

手順 1 0：販社サーバ 3 は、在庫／納期状況の通知を受けると、ファイナンス会社サーバ 7 に対して、先の手順 6 により受信した保険／カーナビ申込データと、上記手順 9 により通知を受けた在庫／納期データを送信する。これらの情報は、見積書の作成に必要な情報となる。

【 0 0 5 1 】

手順 1 1：保険／カーナビ申込データと在庫／納期データとを受信したファイナンス会社サーバ 7 では、これらの情報を利用して見積書データを作成する。

つまり、保険／カーナビ申込データとして含まれる内容に基づいて、自動車保険、カーナビゲーション装置（及びセキュリティシステム）の合計金額を求める。そして、ユーザが指定した支払方法に応じて、見積もりのための処理を行う。例えば、クレジットカードによる分割払いが指定されているのであれば、そのクレジットカード会社が設定している金利や、分割支払い回数、また分割手数料などに基づいて、1 回ごとの支払い金額を求める。このようにして見積書作成に必

要とされる所要の情報を得るものである。そして、最終的には、これらの情報を利用して、そのユーザに対応する見積書画面ページ（図8）のデータを作成する。

手順12：ユーザ端末装置1では、先の手順6によって保険／カーナビ申込データを送信すると、次にはファイナンス会社サーバ7に対してアクセスするようにコントロールされる。そして、ファイナンス会社サーバ7から、上記手順11によって作成された見積書画面ページを読み込む。これにより、ユーザ端末装置1側では、図8に示した見積書画面のページが表示される。

手順13：見積書画面のページ上には、図8にも示したように、申込ボタンA12をクリック操作することによって、見積書を確認した上での購入申し込みが可能とされている。そして申込ボタンA12に対するクリック操作に応じて、ユーザ端末装置1からファイナンス会社サーバ7に対して、申し込み通知が行われる。

【0052】

手順14：上記申し込み通知を送信した後においては、ユーザ端末装置1は、ファイナンス会社サーバ7において用意する、支払い情報入力画面（図9参照）を読み込むようにされる。

手順15：そして、ユーザ端末装置1において表示されている支払い情報入力画面に対してユーザが入力操作を行い、送信のための操作を行うことで、支払い情報入力画面に入力された、例えばユーザが契約するクレジットカードに関する情報などの決済に必要とされる情報が、支払い情報としてファイナンス会社サーバ7に対して送信される。そして、この情報の送信が申し込みの最終通知として扱われる。

【0053】

手順16：最終申し込みとしての支払情報を受信したファイナンス会社サーバ7では、この受信した支払い情報に基づいて所要の決済処理を行う。これにより、ユーザが購入を申し込んだ自動車保険、カーナビゲーション装置（及びセキュリティシステム）の購買契約が成立したことになる。

手順17：そして、決済処理の実行と共に、損保会社サーバ2及び販社サーバ

3に対して決済の通知を行う。つまり、ユーザを特定するユーザID（ユーザの個人情報）と共に、ユーザが申し込んだ自動車保険、カーナビゲーション装置（及びセキュリティシステム）についての購買契約が成立したことを通知するものである。

【0054】

手順18：決済通知を受けた損保会社サーバ2では、所要の購入対応処理を実行する。つまり、そのユーザを正規の契約者として、契約者データベース210に登録する。例えばこの後においては、契約者データベース210に登録された内容に基づいて、保険証書の作成や、ユーザへの保険証書の発送などが、損保会社によって行われる。

【0055】

手順19：同じようにして、決済通知を受けた販社サーバ3では、ユーザが購入したカーナビゲーション装置（及びセキュリティシステム）についての購入対応処理を実行する。例えばユーザが購入したカーナビゲーション装置（及びセキュリティシステム）の発注などをメーカーサーバ側に対して行うものである。

なお、ここでは示していないが、このようにして購入契約が成立した後において、例えば損保会社サーバ2、販社サーバ3、或いはファイナンス会社サーバ7の何れかから、購入契約のための手続きが適正に終了したことを示すページ画面のデータをユーザ端末装置1に送信して読み込ませるようにされる。また、例えば、損保会社サーバ2、販社サーバ3、ファイナンス会社サーバ7の何れかのサーバが代表して、契約の詳細内容の電子メールをユーザが利用するメールサーバに送信するようにもされる。ユーザのメールアドレスは、図5に示したようにして個人情報の1つとして入力されるものであり、電子メールを送信するサーバは、この個人情報として入力されたメールアドレスを宛先として使用する。

【0056】

図15は、例えば上記図4に示した処理の流れの中で、ユーザが購入申し込みを行ったカーナビゲーション装置が無線通信端末を備えるものであった場合に、その無線通信端末についての契約を通信業者と結ぶ際における、データの流れを示している。これは、図10により説明した通信端末契約画面と対応している。

なお、この図においても、データの送信手順の順序が、○内に示す数によって示される。

【0057】

手順1：例えばユーザが無線通信端末を備えるカーナビゲーション装置についての購入決定を行ったとすると、現在取り込んで処理しているコンテンツデータ（HTMLファイルなど）の記述内容に従い、そのページに張られているリンクを辿るようにして、ユーザ端末装置1は、通信業者サーバ6に対してアクセスするようにコントロールされる。そして、図10に示した通信端末契約画面を通信業者サーバ6から読み込む。

手順2：ユーザは、表示されている通信端末契約画面に対して、図10として説明したようにして、所要の契約に必要な情報を入力して、これを送信させるための操作を行うことができる。送信操作が行われれば、ユーザが入力した項目データが、通信契約データとして通信業者サーバ6に対して送信される。

【0058】

手順3：通信業者サーバ6では、通信契約データを受信すると、契約処理を実行する。そのために、先ず、受信した通信契約データの内容を、通信契約データベース213に登録する。なお、この登録の際には、ユーザの住所、氏名などの個人情報、及びその無線端末装置を搭載するカーナビゲーション装置を特定するIDなどの情報が必要となるが、これは、自動車保険申込の際において個人情報入力画面に対して入力された個人情報を利用すればよいもので、ここでは、通信契約データに含まれているものとする。

手順4：契約処理として、次には、上記した通信契約データを、販社サーバ3に対して転送する。

手順5：販社サーバ3では、ユーザが購入したカーナビゲーション装置を製造して、例えば在庫として保有しているメーカサーバ4を選択して、このメーカサーバ4に対して通信契約データを転送する。

手順6：メーカサーバ4では、販社サーバ3を介して通信業者サーバ6から送信された通信契約データを受信すると、カーナビゲーション装置の無線端末装置についての登録処理を実行する。つまり、メーカサーバ4では、この段階で、ユ

ーザに販売提供するカーナビゲーション装置の機種のうちから、1つの機器を限定する。つまり、同一機種でも、例えばシリアルナンバーなどのように機器ごとに固有となるIDをこの段階で決定する。そして、このようにして決定された機器に搭載される通信端末装置に登録すべきID（電話番号も含む）を、通信契約データの内容に従って実際に登録するものである。このような登録データは、製品管理データベース212に格納される。そして、例えば実際の工場出荷時の段階では、製品管理データベース212を利用してその電話番号の登録を通信端末装置に対して書き込む作業が行われる。

このような処理の流れによって、ユーザが購入したカーナビゲーション装置の無線端末装置についての登録が行われる。

【0059】

また、先に図11及び図12にて説明した、カーナビゲーション装置取り付け予約に対応しての処理の流れは、図16に示すものとなる。

手順1：例えばブラウザ画面に対する操作の流れの中で、カーナビゲーション装置の購入を決定したとすると、例えばコンテンツデータの指示に応じて、ユーザ端末装置1は、整備工場サーバ5にアクセスすることができるようになっている。そして、例えばここでは、図11に示した工場案内画面を読み込むための要求を行う。

手順2：例えば上記した工場案内画面読み込みのための要求を受けると、例えば整備工場サーバ5は、この要求を行ったユーザ端末装置1のユーザの保険申込データを損保会社サーバ2から取り込むようにされる。但し、この手順2としての処理は、これより以前の所定の機会でもって実行しておき、取得した保険申込データを保持しておくようにしてもよいものである。

【0060】

手順3：整備工場サーバ5では、工場所在地データベース215と、予約スケジュールデータベース216とを備えているものとされるが、ここでは先ず、上記のようにして取得した保険申込データの内容に基づき、工場所在地データベース215から工場所在地を検索する。

工場所在地データベース215には、当該販売システムと契約している工場の

所在地の情報が、地図情報と対応づけられた形式で登録されている。また、各工場が取り扱い可能な車種や、取り付け可能なカーナビゲーション装置のメーカー、機種などの情報も格納される。

そして、整備工場サーバ5の制御部は、保険申込データに含まれるユーザの自宅住所、車種などの情報を検索条件として、ユーザが購入したカーナビゲーション装置をユーザが所有する自動車に取り付けることが可能で、かつ、ユーザの自宅に近い工場を検索するものである。

手順4：そして、整備工場サーバ5では、上記手順3の検索結果に基づいて、図11に示したような工場案内画面を作成し、ユーザ端末装置1は、このようにして作成された工場案内画面を整備工場サーバ5から読み込む。

【0061】

手順5：上記手順4によっては、ユーザ端末装置1側で工場案内画面が表示出力され、ユーザは、この工場案内画面に対して操作を行うことで、ここに提示されている工場の候補の中から、任意に工場を選択するための操作を行うことができる。そして、例えば決定のための操作を行うと、ユーザが選択した工場を示す工場指定情報を整備工場サーバ5に対して送信するようにされる。

【0062】

手順6：予約スケジュールデータベース216には、提携している各工場の現在の予約状況が登録され、格納されている。整備工場サーバ5では、工場指定情報を受信すると、予約スケジュールデータベース216を参照して指定された工場についての予約スケジュールデータを検索する。そして検索した予約スケジュールデータを利用して、図12に示したような取り付けスケジュール予約画面のページを作成する。

手順7：そして、ユーザ端末装置1では、上記のようにして作成された取り付けスケジュール予約画面のコンテンツデータについての読み込みを行って、表示出力させる。

【0063】

手順8：ユーザは、ユーザ端末装置1側で表示される取り付けスケジュール予約画面に対する所定操作によって、日時を指定した予約を行うことができる。そ

して、所定操作により指定した日時を予約データとして、整備工場サーバ5に対して送信出力する。

手順9：整備工場サーバ5では、受信した予約データに基づいて、例えば図13に示すような取り付け予約確認画面のページのデータを作成する。そして、この取り付け予約確認画面のページを送信して、ユーザ端末装置1に読み込ませる。ユーザ端末装置1では、読み込みを行った取り付け予約確認画面を表示させることになる。

なお、これまでの説明において送受信される情報は、例えばユーザの住所氏名、また、ユーザのクレジットカードなどの情報を始め、第三者に漏洩すべきではない情報とされることから、実際には、暗号化されて送受信される。

【0064】

これまで説明してきた実施の形態によると、ユーザは、インターネットを介して、次のようなサービスの提供を販売システムから受けることができる。

1. 無形物商品である自動車保険の見積もり及び購入
2. 有形物商品であるカーナビゲーション装置（及びセキュリティシステム）の見積もり及び購入
3. カーナビゲーション装置及びセキュリティシステムを取り付け可能な工場の紹介、及び取り付け日時の予約。
4. カーナビゲーション装置の無線端末装置の契約

そして、本実施の形態においては、自動車保険申込のために入力した情報である保険申込データの内容に基づいて、販売側から、ユーザの自動車に適合するとされるカーナビゲーション装置を紹介することが可能とされている。つまり、無形物商品と有形物商品のうちで、何れか一方の商品の購入申し込みのために入力した情報を利用して、他方の商品の購入申し込みも行えるものである。つまり、ユーザは、無形物商品と有形物商品という、2種類の異なる形態の商品を購入申し込みをするのにあたり、例えば個人情報や、商品選択のために必要となる各種情報（例えば車種の情報）などを、その都度入力するという操作を行う必要がないことになる。

【0065】

また、カーナビゲーション装置及びセキュリティシステムを取り付け可能な工場の紹介に際しても、保険申込データに含まれるユーザの自宅住所、また、車種等の情報を利用して行われるようにしており、ここでも、工場の検索のために、新たにユーザに対して情報入力を行ってもらわないものである。

更には、カーナビゲーション装置の無線端末装置の契約に際しても、このときに必要となるユーザの個人情報、既に保険申込データとして得られている情報を利用することで、通信端末契約画面（図11）上でユーザが入力すべき項目も従来と比較して削減されるものである。

【0066】

このようにして本実施の形態の販売においては、有形物商品と無形物商品とを販売するのにあたり、購入申し込みのための情報入力操作を例えば一方の商品のみに対応する1回だけで済むようにし、更に、この申し込み情報の内容を利用して、他のユーザにとって必要とされるサービスを提供するのにあたっても、できるだけユーザによる情報入力操作の手間が省けるようにしたものである。また、換言すれば、本発明としては、有形物商品と無形物商品とを組み合わせで購入した際に、一度取得した申し込みデータを利用した各種のサービスを、ユーザの入力操作の手間を省かせた上で積極的に提供できるようにされたシステムともいえる。つまり、本実施の形態において、例えば、上記した以外のサービスでも、申し込みデータを利用したものが可能であれば、そのためのサーバを追加して設けていくこともできるものである。

【0067】

また本実施の形態の他の特徴としては次のような点も挙げられる。

例えば上記したようにしてユーザが各種のサービスを受けるのにあたっては、ユーザ端末装置1は、損保会社サーバ2だけではなく、他のサーバ（販社サーバ3、メーカーサーバ4、整備工場サーバ5、通信業者サーバ6、ファイナンス会社サーバ7）に対してアクセスするようになっている。つまり、事業形態や企業体の異なるサーバに接続しているものである。しかし、これまでの説明からも分かるように、これらのサーバが提携して1つの販売システムに組み込まれるように

して、例えば図4～図13に示したようなブラウザ画面により表示させるようにしている。これにより、ユーザ端末装置1を操作するユーザとしては、アクセスするサーバが代わることを意識せずに、1つの操作の流れによって、無形物商品と有形物商品とを組み合わせた購入申し込みから決済までの手続きから始まり、工場の予約や無線端末装置の契約などの、商品購入に関して提供されるサービスに対する対応をとることが可能とされている。

【0068】

なお、これまで説明した操作手順及びこれに伴う販売システムにおける動作とは、あくまでも一例を示しているもので、実際にはユーザの操作に応じてより柔軟に対応したシステム動作が得られるものである。例えば、ユーザが最初にアクセスするサイトとしては、損保会社サーバ2に限定される必要はない。例えば、販社サーバ3に先にアクセスして、カーナビゲーション装置の在庫状況、納期などを確認し、更には、整備工場サーバ5にもアクセスして、カーナビゲーション装置の取り付け予約が希望の日時に取れるかどうかを確認してから、正式な申し込みのために損保会社サーバ2にアクセスするという手順を踏むことも全く構わない。

【0069】

また、本発明としては上記実施の形態に説明した例に限定されるものではない。例えば、無形物商品と有形物商品としては、自動車保険とカーナビゲーション装置（及びセキュリティシステム）に限定されるものではなく、例えば無形物商品と有形物商品とで何らかの関連性があれば、販売システムを運営する側で任意に判断して決定することが可能である。そして、販売提供する無形物商品と有形物商品との組み合わせが変われば、これに付随するサービスも自ずと変わることから、システムとして組まれるサーバも適宜変更されて構わないものである。

また、上記実施の形態では、無形物商品を申し込んだ後に、有形物商品を選択決定してユーザに紹介しているが、逆に、有形物商品の購入申し込みに応じて無形物商品を選択決定して紹介するようにされてよい。

【0070】

【発明の効果】

以上説明したようにして本発明では、関連する有形物商品と無形物商品とをネットワークを介して購入手続きするのにあたり、ユーザは、たとえば無形物商品を購入するための購入申し込み情報の入力を行いさえすれば、自動的にこれに適合する有形物商品が購入候補として提示されるものである。つまり、無形物商品と有形物商品を組み合わせて購入する際に、例えば無形物商品の販売サイトにアクセスして購入申し込みを行った後に、自身の操作によって、有形物商品を販売するサイトにアクセスして希望の有形物商品を検索し、更には、同じような購入申し込みの情報入力を行うといった面倒な操作手順を踏む必要は無いものである。

このため、ユーザとしては、目的の製品を購入するのに大幅に操作手順が省かれることになる。また、サーバ側から購入候補として選択された商品が提示されるようになっているために、ユーザとしてはアクセス先となるサーバの変更を特に意識することもない。

即ち、本発明では、ユーザ側からの単一の情報提供という簡便な操作手順に依りながら、有形物商品と無形物商品という異なる種類の商品の購入申し込みを一括的に行うことができるという効果を有しているものである。例えば従来においては、同様にして有形物商品と無形物商品とについて同じ機会に購入するとしても、例えばユーザ自身の操作によってリンクを辿って、無形物商品と有形物商品との各サイトにアクセスして、それぞれのサイトでほぼ同様の情報入力を行う必要がある。

【0071】

また、本発明では、有形物商品と無形物商品を組み合わせて購入申し込みした場合に、有形物商品と無形物商品の何れかに関連するサービスを提供可能なサービス提供用サーバも販売システムとして備えるようにしている。そして、これらのサービス提供用サーバにおいても、ユーザ（端末装置）側から提供された有形物商品または無形物商品についての購入申し込み情報を利用したうえで、端末装置と通信を行ってそのサービスを実現するようにされているために、この場合に

も、例えばユーザは、例えば先に購入申し込み情報として入力した情報項目は、再度入力する必要が無く、それだけ、簡便な操作によるサービス提供を受けることが可能になる。

このようにして本発明では、ネットワークを介しての製品購入、また、これに付随するサービスの享受について、必要最小限の情報入力操作で行えるようにしているものであり、これまで大きな問題となっていた、情報入力のための操作の煩雑さをできるだけ解消して、購買客としてのユーザにとっての利便性を図っている。また、サーバ群を形成する各サーバが、購入申込情報をそれぞれのサーバで必要な情報として共有するようにもしていることで、ユーザに対するサービス等の充実、拡充を容易に図ることが可能にも成るものである。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本実施の形態の販売システムの全体構成を示す説明図である。

【図 2】

ユーザ端末装置の内部構成例を示すブロック図である。

【図 3】

本実施の形態の販売システムを構築する各サーバに共通となる基本構成を示すブロック図である。

【図 4】

ユーザ端末装置のディスプレイモニタに表示され、サーバ側から提供されるトップページの表示態様例を示す説明図である。

【図 5】

自動車保険購入申し込みのための個人情報入力画面の表示態様例を示す説明図である。

【図 6】

自動車保険購入申し込みのための保険申込画面の表示態様例を示す説明図である。

【図 7】

保険／カーナビ申し込み画面の表示態様例を示す説明図である。

【図 8】

見積書画面の表示態様例を示す説明図である。

【図 9】

支払い情報入力画面の表示態様例を示す説明図である。

【図 1 0】

通信端末契約画面の表示態様例を示す説明図である。

【図 1 1】

工場案内画面の表示態様例を示す説明図である。

【図 1 2】

取り付けスケジュール予約画面の表示態様例を示す説明図である。

【図 1 3】

取り付け予約確認画面の表示態様例を示す説明図である。

【図 1 4】

自動車保険とカーナビゲーション装置を組み合わせて購入するための手続きに応じた、ユーザ端末装置と各サーバ間での情報の授受形態を示す説明図である。

【図 1 5】

カーナビゲーション装置の無線端末装置についての契約を通信業者と行う際のユーザ端末装置と各サーバ間での情報の授受形態を示す説明図である。

【図 1 6】

購入決定したカーナビゲーション装置の取り付け工場を検索し、予約するための、ユーザ端末装置と各サーバ間での情報の授受形態を示す説明図である。

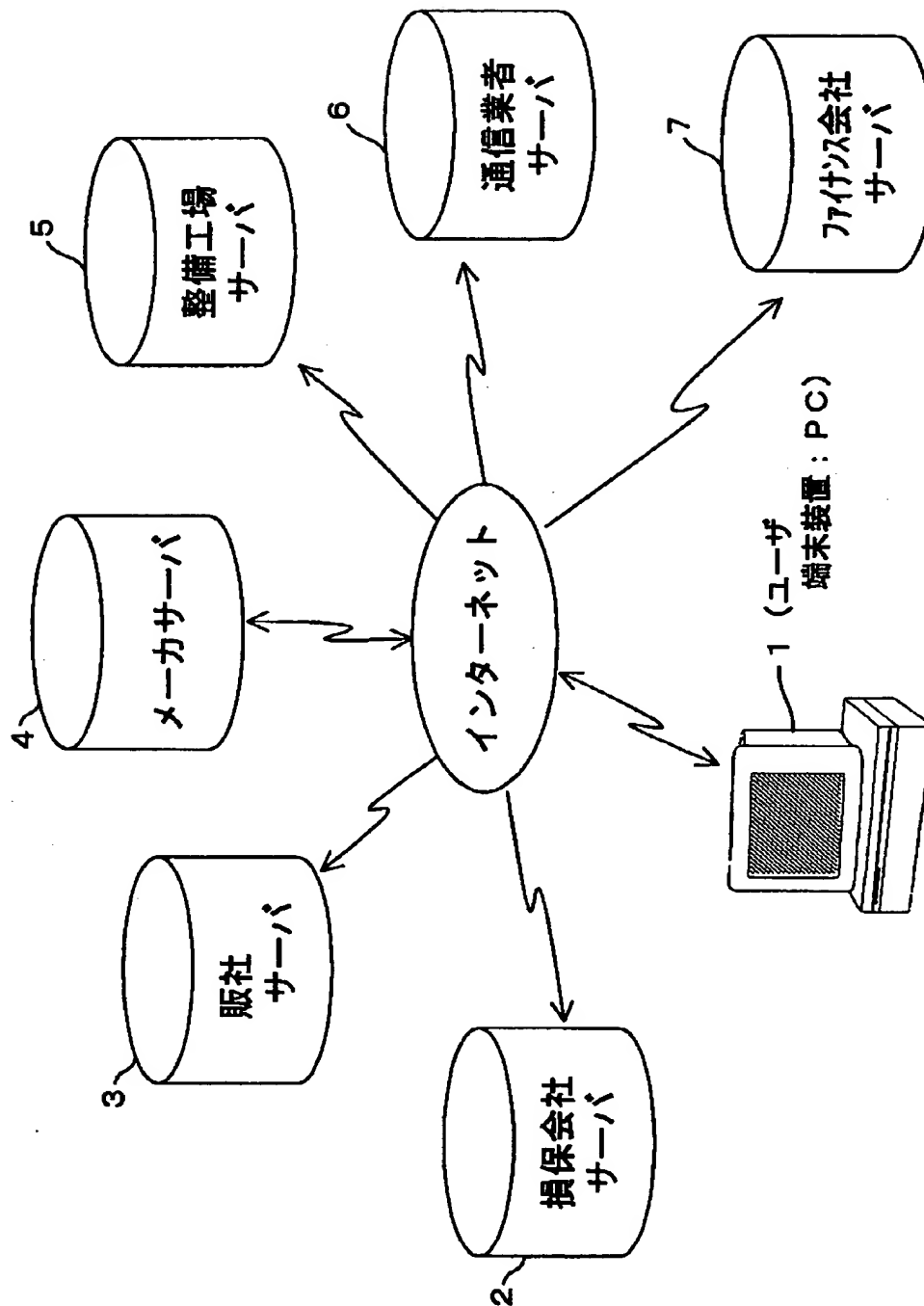
【符号の説明】

1 ユーザ端末装置、2 損保会社サーバ、3 販社サーバ、4 メーカーサーバ、5 整備工場サーバ、6 通信業者サーバ、7 ファイナンス会社サーバ、101 CPU、102 ROM、103 RAM、104 入出力インターフェイス、105 キーボード、106 マウス、107 ディスプレイモニタ、108 HDD、109 メディアドライバ、110 通信インターフェイス、111 データインターフェイス、200 記憶部、201 データベース、202 実行プログラム、203 通信インターフェイス、204 制御部、21

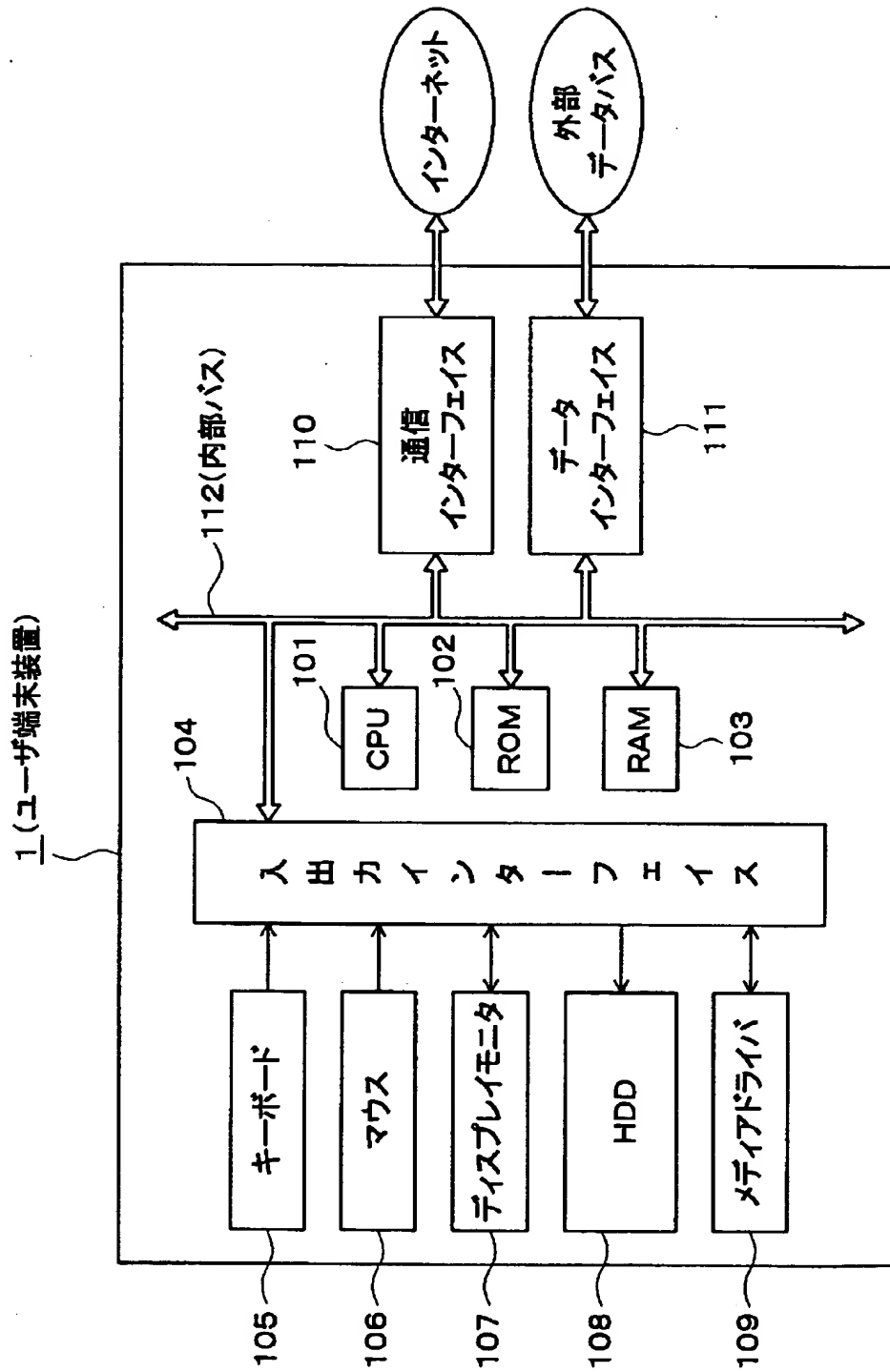
0 契約者データベース、2 1 1 商品データベース、2 1 2 製品管理データベース、2 1 3 通信契約データベース

【書類名】 図面

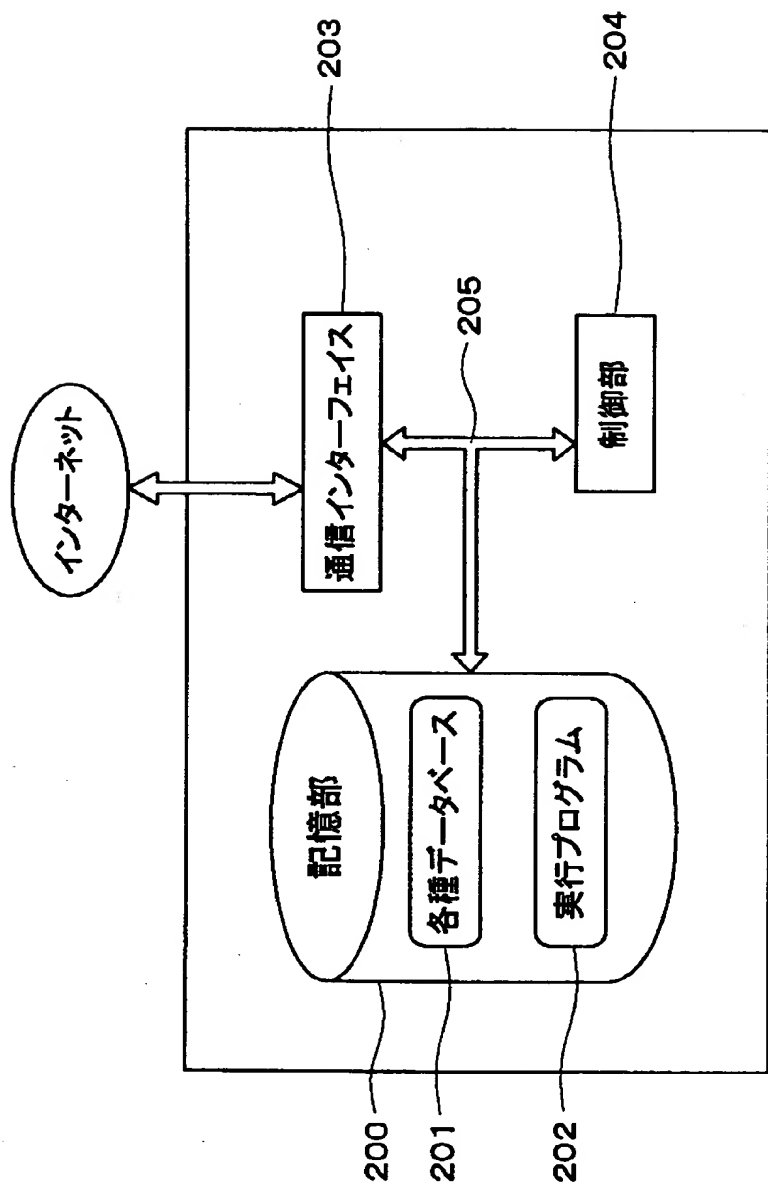
【図1】



【図 2】

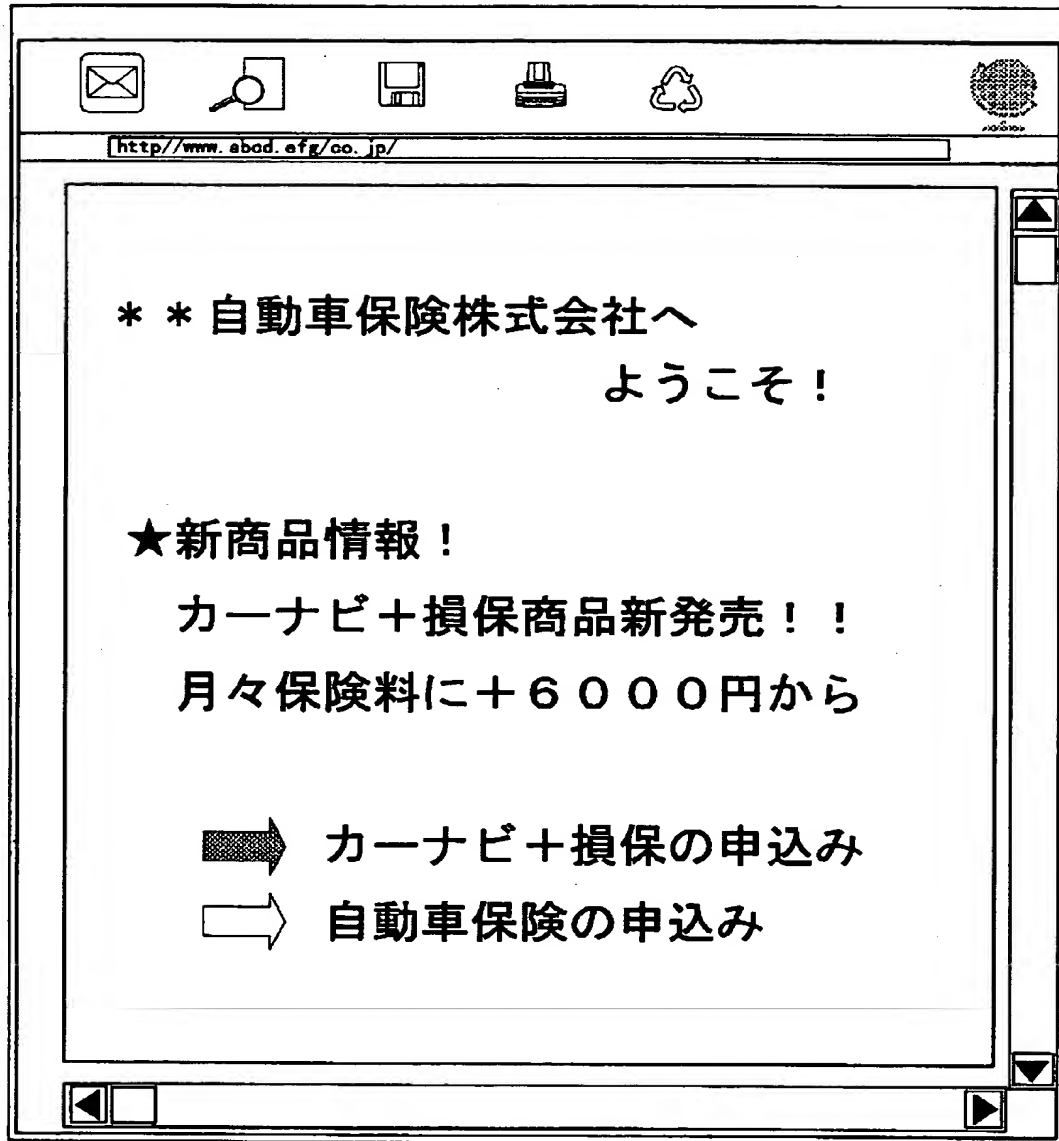


【図 3】



各種サーバの基本構成

【図4】



トップページ

【図5】

http://www.abcd.efg.co.jp/

****自動車保険株式会社へようこそ！**

<< それぞれの項目を入力してください >>

氏 名 : 田中 太郎

よ み : たなか たろう

E-mail : tanaka@gmail.com

生年月日 : 1972 年 8 月 12 日 27 歳

性 別 : 男

住 所 : 〒 263-0041 東京都新宿区太田西
2-3-61 田中ハイツ401

電話番号 : 0120-361-2392

携帯電話 : M-Phone 090-1234-5678

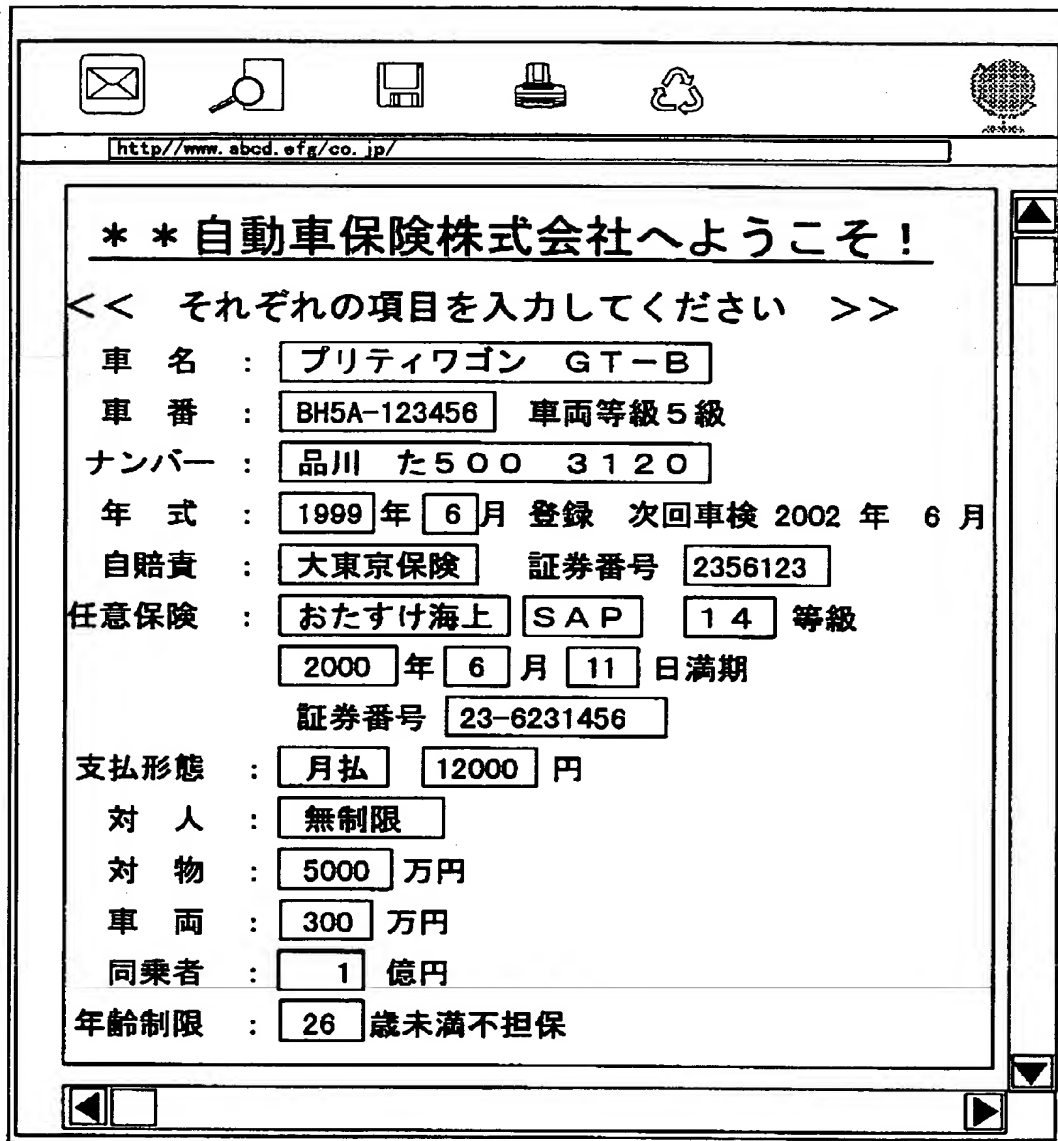
職 業 : ***商事 営業2課

会社住所 : 〒 123-0021 東京都渋谷区神南
1-2-3

つぎへ

個人情報入力画面

【図6】



http://www.abcd.efg.co.jp/

**** 自動車保険株式会社へようこそ！**

<< それぞれの項目を入力してください >>

車 名 : プリティワゴン GT-B

車 番 : BH5A-123456 車両等級5級

ナンバー : 品川 た500 3120

年 式 : 1999年 6月 登録 次回車検 2002年 6月

自賠責 : 大東京保険 証券番号 2356123

任意保険 : おたすけ海上 SAP 14 等級

2000年 6月 11日 満期

証券番号 23-6231456

支払形態 : 月払 12000 円

対 人 : 無制限

対 物 : 5000 万円

車 両 : 300 万円

同乗者 : 1 億円

年齢制限 : 26 歳未満不担保

保険申込画面

【図7】

<http://www.abod.efg.co.jp/>

** 自動車保険株式会社へようこそ！

<< 新規保険見積もり >>

** 自動車保険 TAP 15 等級

A1 2000 年 6 月 12 日 カーナビ取扱会社：**ファイナンス

カーナビ： NDVD-55SD-1

取付
分割
238,000円

契約年数： 3 年 分割 払い 保険満期 2003年 6月11日

対 人： 無制限

対 物： 1 億円

車 両： 250 万円

同乗者： 無制限

年齢制限： 26 歳未満不担保

年間走行距離： 5000 km

セキュリティ： ○

取付
分割
29,800 円 (**製SS-1)

割引特約： 安心安全カーナビ会員 2003年6月11日まで

A2 A14 3年契約 両席エアバッグ 安全車体

ABS 車内盗難 車体盗難

家族限定

保険／カーナビ申込画面

【図8】

http://www.abod.efg.co.jp/

**** 自動車保険株式会社へようこそ!**

<< 田中様 新規保険見積もり計算書 >>

***自動車保険 TAP 15等級 2000年 6月 12日 (3年)

カーナビ、セキュリティ納品可能日 6月 12日以降

カーナビ	:	NDVD-55SD-1 取付	238,000円
3年保険	:	年71,200円 3年	213,600円
セキュリティ	:		29,800円
小計			481,400円
分割手数料			1,000円
合計			482,400円
月額			13,400円

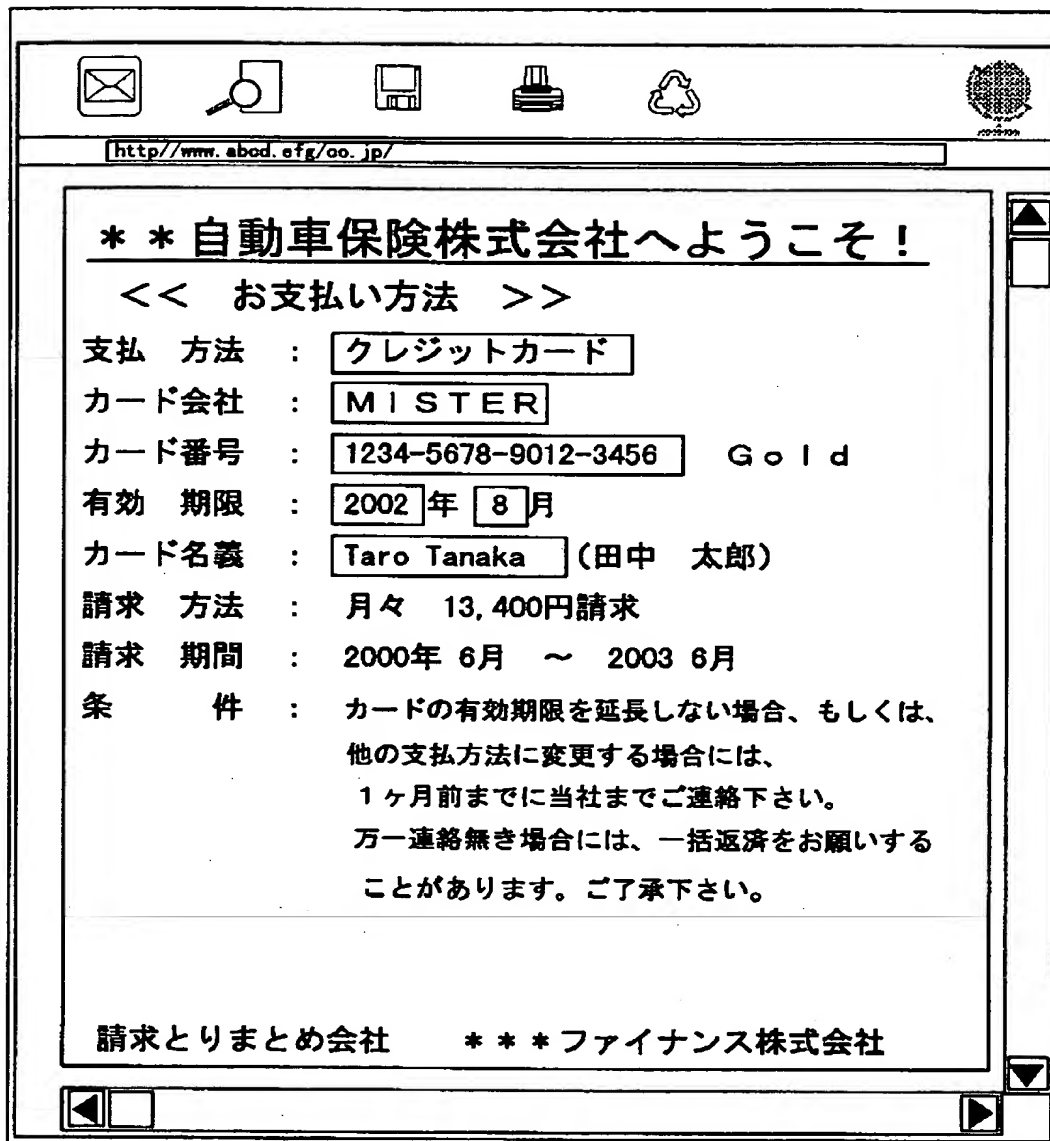
A21
申込! →

カーナビ	月額	約6,600円	セキュリティ	月額	約828円
保険料	月額	約5,940円	(現行	12,000円	-6,060円)

新規付加 : 通信サービス、安心サービス、ロードサービス
サービス セキュリティサービス、情報サービス

見積書表示画面

【図9】



http://www.abcd.efg.co.jp/

**** 自動車保険株式会社へようこそ！**

<< お支払い方法 >>

支払 方法 :

カード会社 :

カード番号 : Gold

有効 期限 : 年 月

カード名義 : (田中 太郎)

請求 方法 : 月々 13,400円請求

請求 期間 : 2000年 6月 ~ 2003 6月

条 件 : カードの有効期限を延長しない場合、もしくは、
他の支払方法に変更する場合には、
1ヶ月前までに当社までご連絡下さい。
万一連絡無き場合には、一括返済をお願いする
ことがあります。ご了承下さい。

請求とりまとめ会社 ***ファイナンス株式会社

支払情報入力画面

【図10】

http://www.abcd.efg.co.jp/

****自動車保険株式会社へようこそ!**

<< 通信端末契約オプション >>

通信会社 : M-Phone 東京

契約番号 : 090-1234-5678

支払条件 : 上記契約番号に請求

個別ID : 090-1234- 8484

暗証番号 : * * * *

データ契約 : ☒ あり 月額基本料金300円 パケット 5円

メール契約 : ☒ あり 月額基本料金300円 メール 5円

以上、上記契約でよろしいでしょうか?

はい 申込み

いいえ リセットやりなおし

通信端末契約画面

【図1.1】



工場案内画面

【図12】

http://www.abod.efg.co.jp/

**** 自動車保険株式会社へようこそ！**

＜＜ スマイル蒔田 取付スケジュール 6月12日以降 ＞＞

2000年

1月	2月	3月	4月	5月	6月
7月	8月	9月	10月	11月	12月
日	月	火	水	木	金
4	5	6	7	8	9
11	12	13	14	15	16
18	19	20	21	22	23
25	26	27	28	29	30

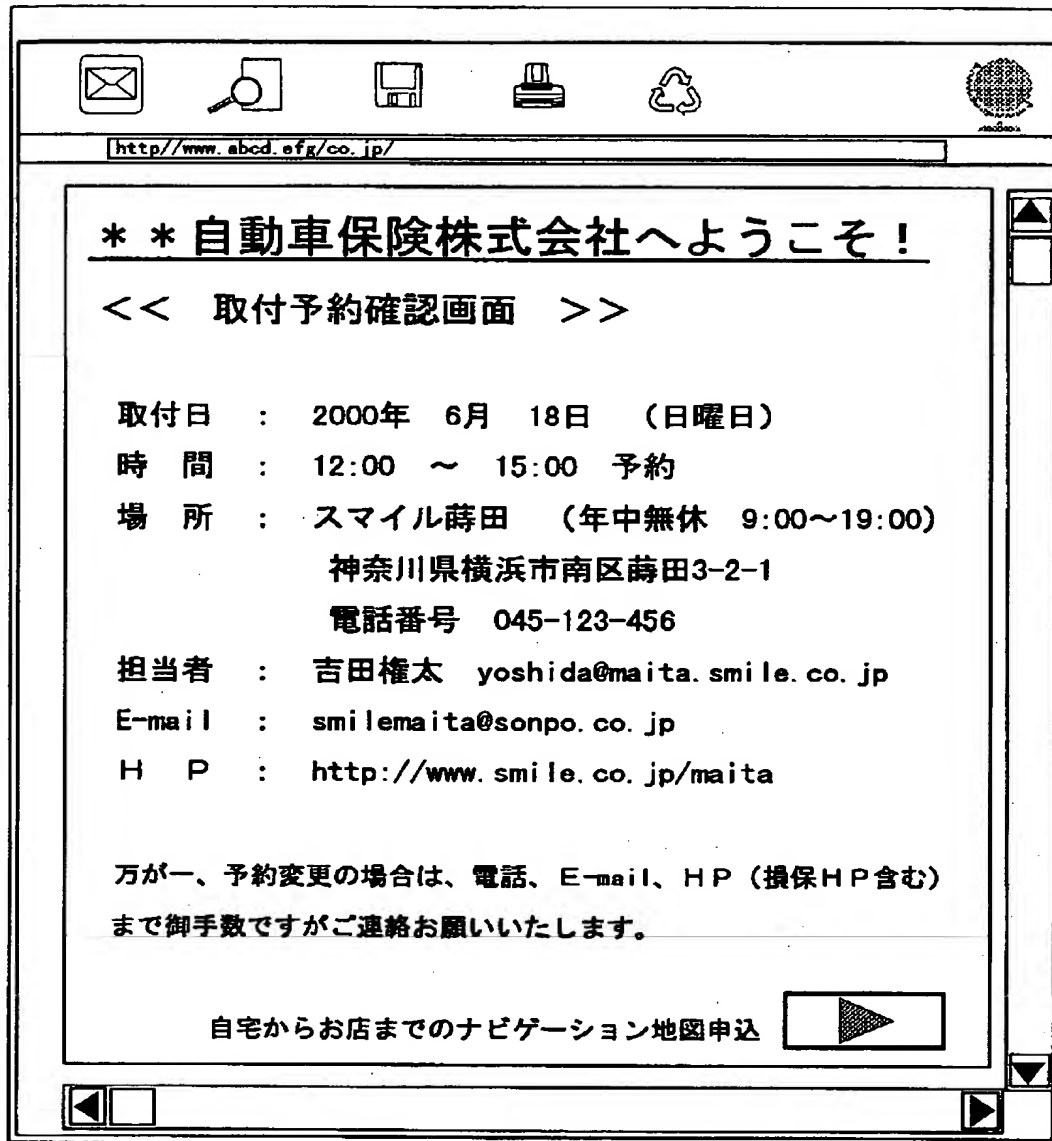
★ 田中様
セキュリティ取付もごさいますので、3時間程度空いているところをご指定下さい！

2000年6月11日～2000年6月17日

	11 (日)	12 (月)	13 (火)	14 (水)	15 (木)	16 (金)	17 (土)
9:00							
9:30	予約済み					予約済み	
10:00			予約済み				予約済み
10:30	予約済み						
11:00		予約済み					
11:30						予約済み	
12:00							
12:30	予約済み				予約済み		
13:00							
13:30			予約済み				予約済み
14:00							
14:30							
15:00							
15:30							
16:00							
16:30							

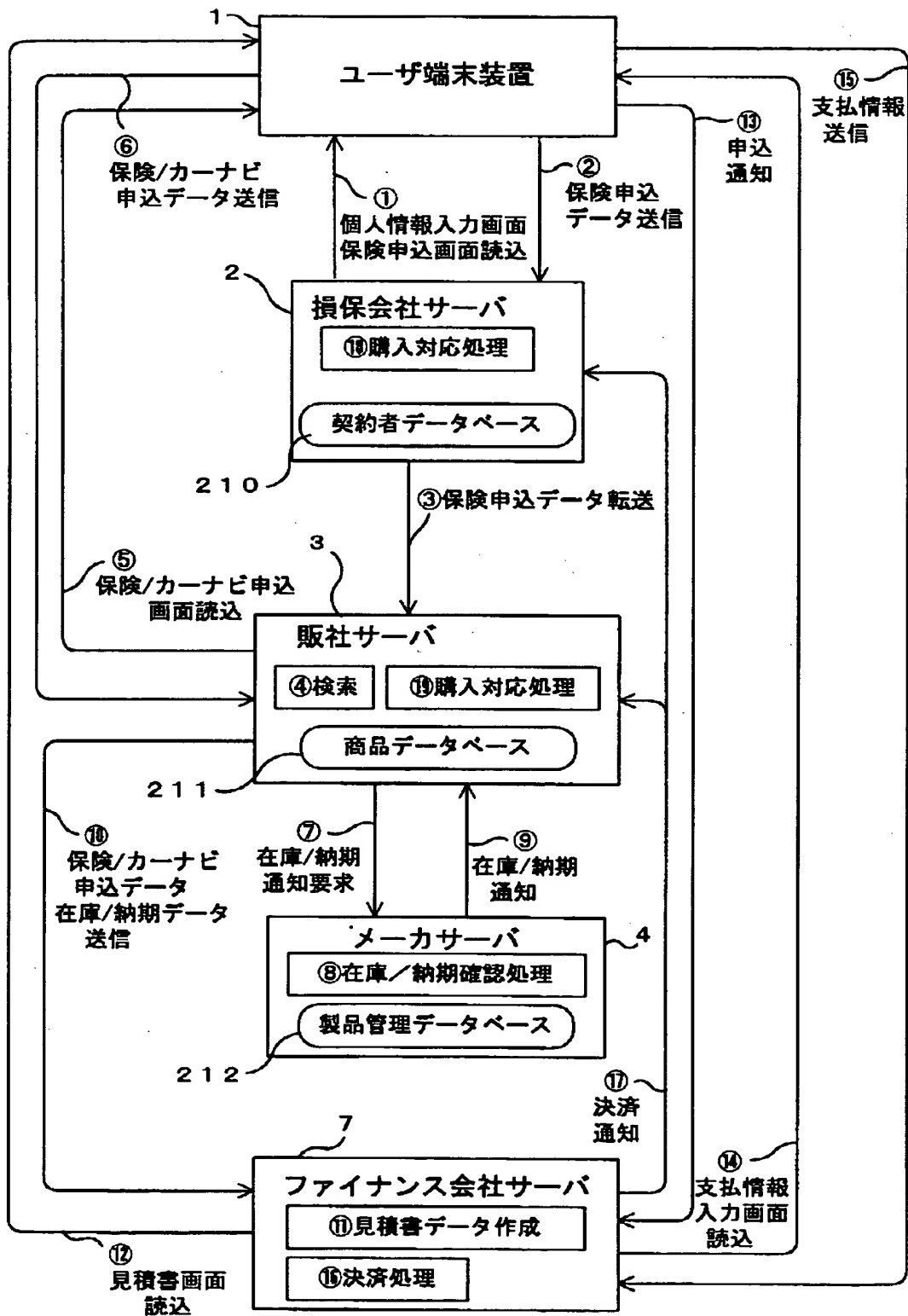
取付スケジュール予約画面

【図13】

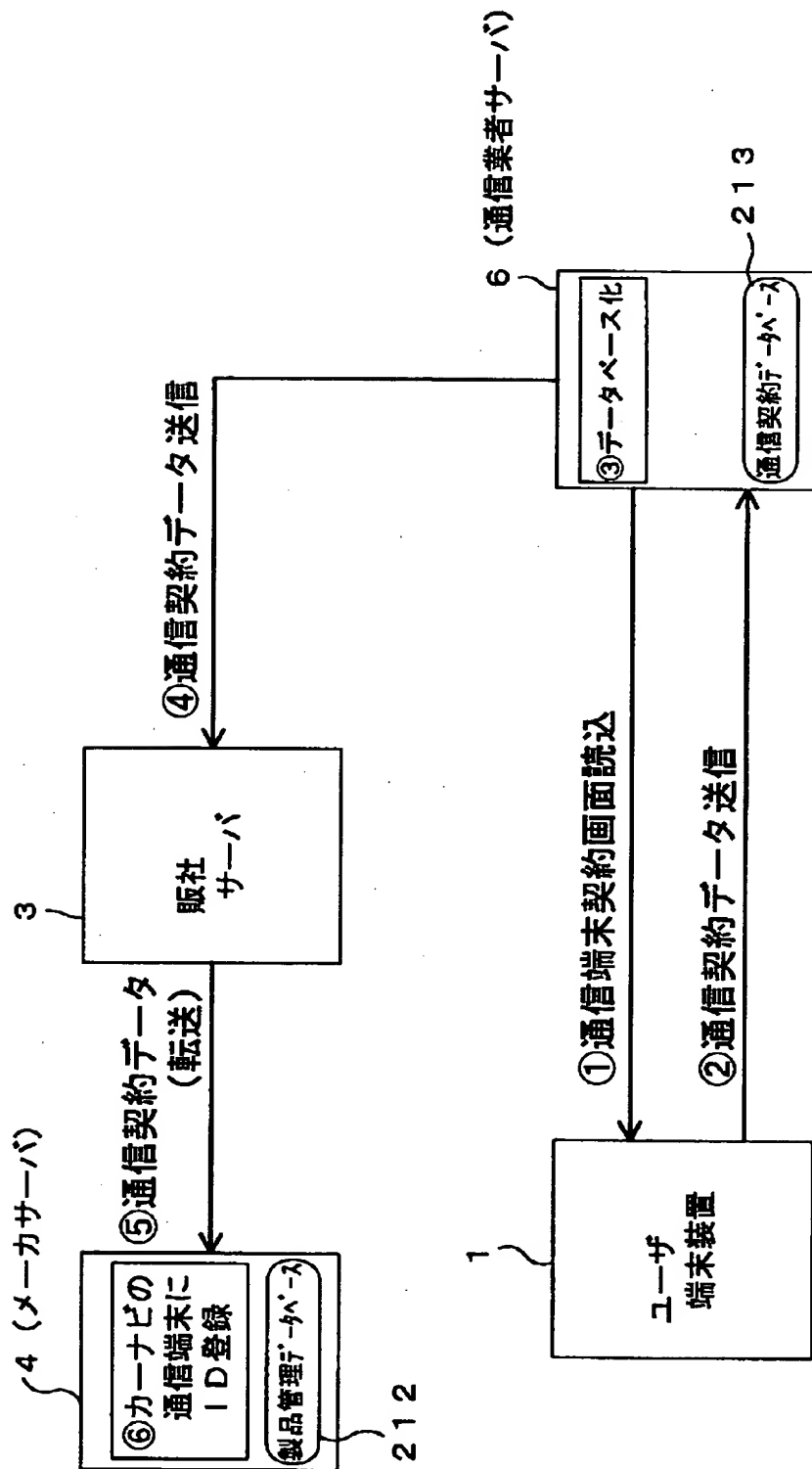


取付予約確認画面

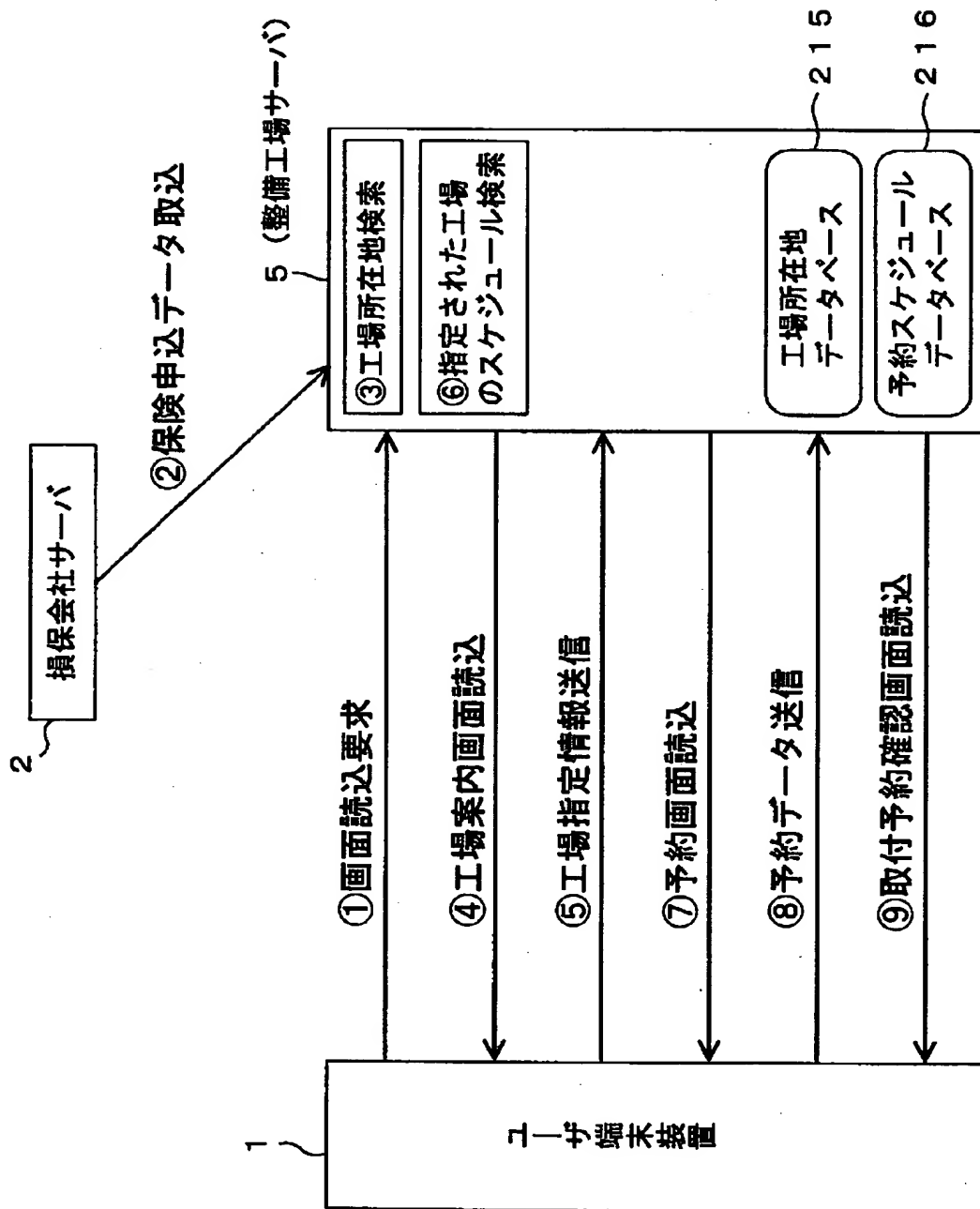
【図 14】



【図 15】



【図 16】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ネットワークを介しての製品購入、また、これに付随するサービスの享受について、必要最小限の情報入力操作で行えるようにして購買客としてのユーザにとっての利便性を図る。

【解決手段】 関連する有形物商品と無形物商品とをネットワークを介して購入手続きするのにあたり、ユーザは、無形物商品を購入するための購入申し込み情報の入力操作を行ってサーバ側に送信する。サーバ側では、購入申し込み情報の内容を利用して、自動的にこれに適合する有形物商品を検索して紹介し、その購入手続きまでを行うことが可能とされる。即ち、ユーザ側からの単一の情報提供という簡便な操作手順に依りながら、有形物商品と無形物商品という異なる種類の商品の購入申し込みを一括的行うことができる。

【選択図】 図 1 4

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日 1990年 8月30日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都品川区北品川6丁目7番35号

氏 名 ソニー株式会社